



題字 井口 文章  
再刊 第484号  
印刷・発行  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2025

みんなでつくる  
錦城高校新聞

「お詫び」新任の先生方の特集の掲載が遅れてしま  
い、申し訳ありませんでした。  
一面…錦城に着任された先生方を紹介！  
二面…一面の続き&窮地の女バレー！

# 新任小平の地で新たな出会い

## 魅力あふれる14人にインタビュー

### 社会科

小高幹陽先生

始業式にて流暢なベルシヤ語を披露し、体育館をどよめかせた小高先生。社会科の教員として、1年生の歴史総合と2年生の世界史探究を受け持っている。小高先生は大学



前からシリアなどの中東やイスラーム教に関心があったそうで、今回のインタビューでも実際にイランに行った時のことを写真を見ながら楽しそうに話してくれた。教師になることについては、イランに滞在しているときに思いついたというが「受験のためのものとして勉強するのも大切ですが、それとは別に面白いものもあるということを感じたいと思ったんです」と自身の思いを語った。

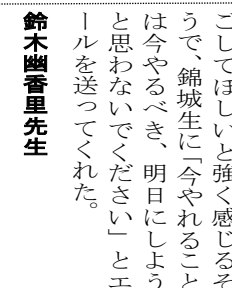


「地理には『ひろがり』があり、幅広い分野につながれるので面白いです」と話してくれたのは、地理総合を担当する馬橋雄大先生。

### 国語科

石塚浩子先生

1年の言語文化と3年の古典探究を担当されている石塚先生。高校時代はアニメ同好会で好きなアニメを語ったり、手書きアニメのセル画を作成したりしていたそう。高校時代の得意教科は現代国語と音楽。苦手教科は物理と世界地理で、目に見えないものを計算することや行った



1年生の現代の国語の授業を担当されている鈴木先生。「自分自身の経験を通して、また多くの著作から悩み多き高校生の皆さんの手助けになれば」との考えから教師を志し、夢を叶えたという。

学生時代は文芸部に所属し、小説や詩を書いていたそう。当時のことについて鈴木先生は、英語がずっと続いていた。また、英語がずっと好きで外国人が多く来店する飲食店でアルバイトをしていたそう。担当している1年生をメインにきつい、忙しいのに早く慣れて、コツコツと頑張りました」とメッセージを送ってくれた。

### 英語科

坂内新先生

1年生と3年生の英語を担当されている坂内先生。錦城の56回生で、学校の様子を見て「あんまり変わってない」と学生時代を懐かしむ様子を見せた。

教師になった理由はいろいろあるというので、「生徒と英語を一緒に楽しめたかった」ことが大きいと語る。また、錦城には尊敬している先生が多くいるので、「あんな大人になりたい」と思いました」と話してくれた。



学生時代、力を入れていたのは勉強で「あんまり器用に物事をできる質じゃないの」と思っていた。明日にしようと思わないでください」とエールを送ってくれた。

目曜1限、科目は、「冒險」

毎週水・金曜日の放課後に活動中兼部OK  
月1で登山やスキー、飯盒炊爨へ体育着で食堂前に来てください！



### 美術部



新校舎4階美術室  
週2日(月・土)

## 空手道部 関東大会出場へ 文武両道を目指して

空手道部は春季都大会6位入賞の結果、6月6日(金)から6月8日(日)に行われる第54回関東高等学校空手道大会、女子団体形に昨年から2回連続で出場する。試合を控える渡部瑞稀さん(2G)と多賀谷昂子さん(2A)に話を聞いた。

形を練習する際に大変だったことは、団体競技がゆえに動きをそろえる必要があったことだそう。特に、一人ひとりが勢いと緩急を使い分けることで形の魅力が増すため、バランスをとることを意識したそう。迫力あふれる形へ創り上げていくため、大会直前までマットの上で汗だくなりながらも最終確認をするのだと教えてくれた。

週6で活動している空手道部。文武両道を実現するために、毎朝2年女子が集まり、アップ中にシステム英単語をめくることがあるという。今回の試合は昨年先輩たちが突破できなかった大会のため、その上の大会に行き先輩たちを越えられるように頑張りたいと話す二人。



空手

最後に、今大会に出場しない部員もいることを踏まえて、「その人の分まで頑張ってきます」と笑顔を見せた。(桃)

## ソフトテニス部 都ベスト16 全日本団体選手権ベスト8目指す

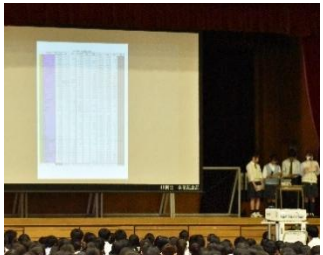


ソフトテニス部は男子の部で関東団体選手権予選東京都ベスト16となった。インタビューを受けたのは出場した勝田裕介さん(3K)と杉本悠太郎さん(3F)。2人は「何年かぶりに良い結果を残すことができてとてもうれしいです。今年は入部した人数も多かったのも恵まれました」と話した。次の目標は全日本団体選手権予選でベスト8になることと、今回負けた高校に勝つことだという。

最後にソフトテニス部の後輩たちに向けて2人は「部活の雰囲気良かったことで今回の大会でいい成績を残せました。3年生の引退も伸びたので楽しくやらしてもらっています。ありがとうございます」と感謝を話してくれた。(梅)

## 生徒会総会！1年生の感想は？

5月14日(水)6限目に第一体育館で生徒総会が行われた。まず中央委員会による錦城生活のルール再確認が行われ、8時以降の自転車ルールや食堂利用の利用方法、ペットボトルの管理についてなどがスライドで確認された。1年生からは「知らなかつ



全校からの承認を得る

たや「これは知っていた」などの様々なリアクションが見られた。続いて昨年度決算および今年度予算案の審議。予算案は前年度と比べ目立った変化はなく、質疑応答も特になかった。予算案は賛成多数で承認された。

加した1年生のうち、教員に感想を聞いてみると、「今回の生徒総会を通して錦城生の一員としての意識が高まった」などの意見が出た一方で、「あまりやる必要を感じなかった」「なににも分らなかった」などの意見も聞かれた。

次回生徒総会に向けて、生徒各自が目的を理解して臨む必要があるようだ。(月)

木先生は、定期テストと部誌の締め切りが重なることもあった。当時のことについて鈴木先生は、英語がずっと続いていた。また、英語がずっと好きで外国人が多く来店する飲食店でアルバイトをしていたそう。担当している1年生をメインにきつい、忙しいのに早く慣れて、コツコツと頑張りました」とメッセージを送ってくれた。

文藝部

BUNGEIBU

火:7階部室  
水・金:2階多目的室

「風呂キャン」という言葉がある。正確には「風呂キャンセル」で、風呂に入るのが面倒でやめてしまいうことを指す。どうやら一年くらい前の「お風呂に入るのが嫌すぎる」という投稿が発端で、何気ない日常のつぶやきが、3万以上のいいねや多くの人の共感を得たらしい。皆のなかにも、部活や勉強に疲れて「今日は風呂キャンしちゃおうかな」と考えたことのある人はいるのではないだろうか。言う自分も、怒涛の小テスト期間でへとへとになった日は「風呂面倒さ！」となり、しまいは朝の支度も課題もぜんぶ「面倒さキャン」だ。だが、ある専門家は「日常の行動習慣が崩れてしまふ」ことが様々な心の健康に関わることがある、と指摘している。「入浴が面倒」はうつ症状のチェック項目としてしばしば用いられるもので、疲労やストレスへの自己防衛機能が働いて気持ちと行動の不一致が生じることがあるそう。引用: <https://light-clinic.com/bath-cancel/attention/>自分はそのような状況になったとき、外に散歩に行くようにして、自分の世界が広がった気がして、それまで憂鬱だった感情が自然に晴れていくのがオススメだ。友達に勉強に気が乗らない時、シス単を1ページだけ見ると「1ページだけ」とハードルをわざと下げる事で嫌な事でも受け入れやすくなり、勉強しているうちにやる気も湧き出てくるそう。球大やテストが一気に終わる、気を抜きやすい時期だからこそ、日々の行動を変えずに続けることが、結果的に良い方向に導くと感じる。憂鬱な時や乗り遅れない時に行う習慣は、周りの人にとっても参考になるかもしれない。お互いに上手い方法を共有するのも良いと思う。(比)

